

# 中日 サンデー版 + テレビ

- 2 ● ケンタロウの快食レシピ  
「うなぎ押しずし」  
● 優しい肴 「クレソン」  
● 300文字小説  
● スグレもの  
野菜保存ネット

- 3 7 ● 週間テレビガイド  
(13~19日)

- 4 5 ● 大図解  
増え続ける宇宙ごみ

- 7 ● サンデー懸賞  
● クイズ&パズル

吹き子を巧みに操ってガラスの形を整える李末竜さん(右)。温度の変化に気を  
使い、瞬時の判断で模様を付けていく。愛知県瀬戸市のバルト工房で



激しい炎を見つめる目は、静かに冷えていた。炉で溶かしたガラスは、数秒で固まる。まさに一瞬の勝負。吹き竿の先の真っ赤なガラスが、冷静な手つきで伸ばされていく。炉で軟らかくする、硬くなる、軟らかくする…。作業を繰り返して、「よっしゃ」。約二十分で、流線の装飾が美しい大鉢が仕上がった。

李末竜さん(右)は、在日韓国人二世。愛知県瀬戸市の瀬戸窯業高校で陶芸家を志したが、卒業を控えて訪れた大阪市のガラス工場で、人生が変わった。熱を帯び、自由自在に形を変える美しいガラス。リズム感にあふれる工程。「きれい。もっと面白いものになる」。素材にほれた。

大阪市や名古屋市のガラス工場で修業し、民族運動に打ち込んだ後の一九七六年、瀬戸に窯を築き、工房をつくって制作を始めた。沖縄を別にすれば、個人工房は少ない時代。窯業からすべてが手探りだった。

八八年から二年間、英国の美術大などに留学。帰国後は制作とともにガラス工芸のすそ野を広げる

## わが町 日本一



### 珪砂産出量

天然珪砂産出量  
経済産業局別(万トン)

東北	28
中部	298
中国	64
国内	431
輸入	156

瀬戸市 100万トン

※2007年日本珪砂耐火粘土鋁業協会資料。  
瀬戸市の数字は愛知県珪砂鋁業協同組合資料

中部地方に多くの鉱山集中

★メモ 珪砂は、花こう岩が風化して粒状になったもの。ソーダ灰

# ガラスにほれた`伝道師`